

意図しない剽窃や盗用の疑いを防ぎ  
研究成果の正当な評価を守る



# 研究成果の 独自性を確かめる

剽窃検知・独自性検証ソフトで楽々

**時：6/30(金) 16:30-17:30**

**所：C306**

**※事前申込不要** 【ソフトを使うにはID、PWが必要  
(取得できるのは専任教員のみ)  
ご希望の方は下記の間合せ先まで】

**対象：教員、大学院生** 【他の方も受講可能  
(ソフトのID、PWの有無は問いません)】

## 講師紹介

**山田浩一氏 (アシストマイクロ)**

アシストマイクロでiThenticateを担当。多くの大学で「導入」及び「説明会」の開催経験有り。

【iThenticateについて】日本国内で100機関以上（うち国立大学40大学）に論文の剽窃チェックで導入されているソフトウェア。その基本的な仕組みは、対象の論文をアップロードすると保有するデータベース（学術論文、出版物、インターネット）とマッチングを行いその結果をレポートとして表示することである。

